



The service club to the YMCA

THE Y'S MEN'S CLUB OF TAKARAZUKA

宝塚ワイズメンズクラブ
〒662-0977 西宮市神楽町 5-23
西宮 YMCA 内
Tel (0797)35-5987

"TO ACKNOWLEDGE THE DUTY THAT ACCOMPANIES EVERY RIGHT"

AFFILIATED WITH THE INTERNATIONAL OF Y'S MEN'S CLUBS CHARTERED MAY 22, 1988

宝塚ワイズメンズクラブ 2017年7月会報 第346号

主 題 ・ 標 語

国際会長(IP) ムン サン ボン(韓国)

主 題: " Let Us Walk in the Light-Together " 「共に、光の中を歩もう」
スローガン " Fellowship across the borders " 「国境なき友情」

アジア地域会長(AP) Tung Ming Hsiao(台湾)

主 題: " Respect Y's Movement " 「ワイズ運動を尊重しよう」

西日本区理事(RD) 大野 勉 (神戸ポート)

主 題: 2022 年に向け「心身の健康づくりから、クラブの健康づくり」
" Healthy mind & healthy body make healthy club "

副 題: 「今あるクラブを充実させ、しょうらいのクラブへ
宝(財産)を伝承していこう！」

六甲部部長 杉本 隆人(神戸学園都市)

主 題: 「共感しあい、支えあおう」
Empathy each other, Root y's & YMCA

宝塚クラブ会長 武田 寿子

主 題: 「次世代への継続！」Continuity to the Next Generation
地域への奉仕、エネルギーを結集し西日本区大会を
成功させよう

今月のテーマ：キックオフ EMC-MC

イエスはその場所に来ると、上を見上げて言われた。
「ザアカイ、急いで降りて来なさい。今日は、ぜひあ
なたの家に泊まりたい。」(ルカ 19 章 5 節)

日 時：2017年7月12日(水)18:30
場 所：宝塚ホテル ゴールドの間
会 費：会員3,100円、会員外3,500円

ドライバー 福田 宏子 谷川 尚
開会点鐘 若林成幸 直前会長
ワイズソング 全 員
聖書朗読 加藤 光信
祈 祷 吉田 明
ゲスト・ビジター紹介 若林成幸 直前会長
役員交代式
入 会 式

西川勝久氏 小林 康男氏
晩 餐 一 同

総 会
1) 新年度活動方針
2) 決算報告、3) 予算審議

インフォメーション
YMCAニュース
誕生日記念日
閉会点鐘 武田寿子会長

2017/18 役 員	会 長 武田寿子 直前会長 若林成幸 副会長 多胡葉子 書 記 若林成幸 会 計 吉田 明 堀江裕一 会計監査 加藤光信 連絡主事 谷川 尚 メネット連絡 福田素子	
事 業 委員長	YMCAサービス・ユース 福田宏子 地域奉仕・環境 多胡葉子・EMC 若林成幸 交 流・ファン ド 石田由美子 広 報(ブリテン) 長尾 亘 (HP) 長尾 亘	
特別事業 委員長	NGO 鯖尻佳子 じゃがいも 福田 肇 バザー 青柳美知子 市民クリスマス 若林成幸	
お誕生日 おめでとう！	な し	
6 月 実 績	例会出席者数 17 名 在籍会員数 19 名 (功労会員 1) 出席会員数 11 名 出 席 率 57.89% メイクアップ(内数) 1 名 メネット 1 名 コメント・孫メット0名、ゲスト・ビジター5 名	
	BFポイント 6 月 3,100 円 累 計 36,453 円	
	にこにこBOX 6 月 2,000 円 累 計 35,500 円	
	ファン ド (物品販売) 5,300 円 累 計 75,165 円	

新会長挨拶

次世代への継承

Continuity to the next Generation

という会長主題を掲げて2017-2018年の会長をお引き受けしました。また地域への奉仕の継続も大切に、2018年6月の西日本区大会を宝塚クラブのエネルギーを結集して実行委員長をサポートし、成功させたいと願っています。といってもまだまだワイズのことがよくわかっていないのが不安ですが、強力なメンバーおひとりおひとりのサポートを頼りに、あまり力まず自然体で、楽しい例会にできればと願っています。今期は3名の新会員という目標を掲げました。30周年を迎えて、次世代への継承のためにも新会員を歓迎したいと思います。若林前会長の素晴らしいお働きに感謝し、まかれた種が着実に実ることを確信しています。

武田 寿子

6月第1例会報告

宝塚クラブ 6 月第一例会は 14 日(水)18:30、宝塚ホテルゴールドの間に於いてメン10、メネット1. ゲスト5、計 16 名の出席により、若林会長の点鐘で開催された。



例年、6月は1年間の活動報告になっている。会

長、各事業委員長から「活動計画」に沿って1年間の活動実績が報道された。概してどの事業委員会も着実に成果を挙げ、活発な活動が行われたと評価される。ただ今期は入会者がゼロ、退会者 1 名で会員数が 18 名となった。次期は会員獲得に全力を注ぐことを確認した。又当クラブの事業委員会構成についてファンド委員会を廃止し西日本区の事業委員会の構成の通りとすることとした。

活動報告の詳細については、7 月発行の総会資料に内容が掲載されることになっている。

この後、会員からのインフォメーション、YMCA ニュース、誕生日のお祝いをして例会は一応終了の形をとった。

続いて、今回はアディショナル・プログラム

①「スペシャルオリンピックス」について

(武田寿子メン)

スペシャルオリンピックス(以下「SO」と云う)は1968年故ケネディー大統領の妹ユニス・シュライバーにより活動が始められ、今や確実に社会を変える動きとして世界に広がっている。また「SO日本」は1994年熊本ジェーンズクラブの中村勝子氏が細川佳代子氏の協力を得て設立、現在47都道府県全てに活動の拠点を持って居る。「SO日本・兵庫」は2001年に設立され武田メンが理事長をつとめている。県内11の地域で陸上、水泳、スケート、卓球、ボウリング等多くのプログラムが実施されている。9月にはSO兵庫の主管で「SO近畿地区大会」が開催されることになっている。この大会成功の為には人的、資金的協力が必要、そして現在キャンペーンを展開中。宝塚クラブからささやかな協賛金を贈った。

②西日本区大会報告 (長尾亘メン)

6月10日、11日に開催された熊本大会の様子がパワーポイントを使って報告された。メインの大会、エクスカッション、岩国・鹿児島クラブとの交流等々熱気溢れるシーンが再現され、今後の活動に対する決意を新たにしたい次第です。

これにて全てのプログラムを終了、若林会長が一年間の感謝を込めて最後の閉会点鐘、2016年から17年度最終の例会を閉じた。

吉田 明

6月第2例会報告

宝塚クラブ 6 月第2例会 議事録

日時:2017 年 6 月 21 日 18時30分—20時50分

場所:宝塚市西公民館

出席者: 若林、吉田、加藤、堀江、多胡、鯖尻、
福田(宏)、石田、谷川、武田

議案:

1. 役員の交代式(役員バッジ等持参のこと)

別紙資料に基づき 2017 年度の事業計画説明→
委員会構成の確認

(会長、各事業委員長、各特別事業委員長、メネ
ット会)、ギブクラブ(デンマーク)からのCDを見
る。

2. 会員移動の承認

退会:水谷恭子(6 月 30 日付け)

会員数18名(2017年7月1日現在)

新入会員入会予定:中江、西川

(7月第1例会)

3. 会計報告が吉田会計より別紙にてあり、今年
も予算通り順調に推移したことを承認、2017
年度予算の説明があり、審議し、承認された。
なお会計監査は、6月30日3時より宝塚西公
民館にて行う。

4. ブリテン 7 月号編集:原稿締め切り日6/30第1 校正6/30—7/2

原稿依頼:6月例会報告—吉田、第2例会—武
田、西日本区大会—参加者有志

会長の言葉—武田、青柳さん送別の原稿 辻
牧師に依頼、YMCA ニュース—谷川

5. 総会資料の作成について(報告様式・提出期 限 7 月 5 日)

6. 第 21 回西日本区大会関係

石田より西日本区大会の広報は熊本方式で
大野理事の音楽とともに、各部会でアピール
するので帽子は各自保管。

7. 六甲部第 1 回評議会 7 月 8 日(土)石田、 若林、多胡、長尾、堀江、武田、

メネット事業主査研修会7月1日(土)福田(素)

8. その他の報告:8月例会は芦屋クラブから合同
例会の申し出があったが通常の納涼例会にする。
できれば三田と合同を考える。(若林)

9月例会ゲストの戸倉氏にタイトル及び経歴を依頼
(石田)

10月ゲストの中村桂子氏(岩国みなみ)の例会
をはんしん自立の家でできないか、日程の変更
も考慮し、依頼する(多胡)堀江宏ワイズ(近江八
幡クラブ)奈良傳賞受賞祝い花束送付

会長ご苦労さん会 7 月 19 日第 2 例会後武田宅、
自立の家夏祭り参加要請 8/5

その他 例会出席会員者数11名(19名)メイクア
ップ1名、メネット1名

ゲスト5名 計17名

BFポイント6月3100円 累計34、453円、

ニコニコBox 2000円 累計35、500円

ファンド(物品販売)5300円 累計75、165円

書記 武田寿子

熊本西日本区大会

西日本区大会 フェロシップアワー

第20回西日本区大会は、熊本の復興状況を観る機
会でもあり、九州男子・女子のあの元気さに接する



楽しい交流の場でもあった。懇親会後に持たれたフェローシップアワーでは、岩国クラブ・鹿児島クラブの面々と席を囲み、1年ぶりの再会を喜びつつ歓談のひとときを過ごした。席上、鹿児島クラブから「来年、神戸でトライアングルDBCを果たしたい」と心強い宣言があり、締結式ではトライアングル(楽器)を皆で鳴らそう、なんてジョークも飛び出し、愉快的仲間達との打ち解けた交流会となった。会場に居合わせた岩本理事・大野次期理事や他クラブの面々からも祝福と励ましをいただいた。記念写真には喜びの瞬間が記録されている

若林成幸

菊池渓谷への観光秘話

西日本区大会が始まり、来賓の菊池市市長の挨拶の中で、「菊池市は観光名所として菊池渓谷があり、年間多くの観光客で賑わっていましたが、現在震災のために立ち入り禁止となっています。1年後には入谷できるよう現在復旧に云々」と。

そのあと続いてアジア会長のシャオさんのスピーチ。



急遽岡野ワイズの通訳がつき、開口一番に「菊池市の自然は素晴らしい！午前中に3人のワイズとともに菊池渓谷に行き素晴らしい渓谷の自然に触れ、感激し、台湾に帰っては是非この菊池の素晴らしさを伝



えたい云々」

3人のワイズとは我々武田、堀江、多胡である。4人はタクシーで溪谷まで行き、柵を乗り越え少し先の溪谷に降り、冷たい清流にふれ、森林のなかの流れを楽しみ、溪谷の風景の一部分を堪能したのだった。

多胡葉子

六甲部広報最優秀賞
宝塚クラブ広報優秀賞

2017年6月9日(前夜祭)10日、11日、熊本県菊池市文化会館に於いて750名出席のもと第20回西日本区大会が開催された。宝塚クラブからも8名の参加。バナーセレモニーの後、長井慎吾部長より六甲部活動報告がされました。また、理事表彰では、六甲部は広報最優秀賞、宝塚クラブは広報優秀賞



を受賞しました。そして、理事引き継ぎ式にて次期の杉本隆人ワイズ(神戸学園都市)に部長バッジが引き継がれました。また来年は神戸での大会開催で、大野勉理事の爽やかな若草色のジャケットに合わせてカンカン帽にリボンをつけてアピールも出来ました。フェローシップアワーでは岩国クラブ、鹿児島クラブとの交流も楽しく出来き、来期はトライアングルもと希望に胸が膨らみました。

鯖尻佳子

青柳正志さんの思い出

辻 建(元クラブメンバー)

青柳さんとの出会いは、まったく宝塚ワイズのチャーターによって起こっている。30 年前のその頃、ある夕刻阪急電車を西宮北口で乗り換えた。その時、座席に腰を降ろしていた私の前に偶然立った青柳さんから声をかけられた。まだお互いの顔すら



よく記憶していない頃の嬉しい瞬間だった。青柳さんが現役時代、客船や貨物船を世界の海を股にかけて動かしておられた頃の姿はまったく存じ上げない。また美知子さんとのロマンスについてもお聞きする機会を持たなかった。当時お互いに 50 代半ばの若さで、青柳さんは神戸の港でパイロットを勤めておられた。波の荒い日、パイロット船から大きな船の船体にぶらさがった縄ばしごにすばしこく飛びつき、それを上がっていく。これは相当な熟練が必要で、へたをすると海の中に投げ出されてしまう危険をはらんでいる。そんな話を青柳さんからビールを口にしながらうかがったことがあった。

宝塚ワイズの創成期はなにもかも手探りだった。それに阪神淡路大震災に見舞われた。もっとも被害を受けられたのは今田家で三田市に一時避難される状態だったが、青柳家も私の住む教会も被害は少なく、もっぱら救援の側に廻ることが出来たのは不幸中の幸いであった。ワイズ活動でのもっとも印象に残る思い出は、なんといっても 1992 年

ノールウェーのオスロで開かれた国際大会に大挙して 10 名が参加したことであった。その中に青柳さんご夫妻がいた。ほとんどの参加者が経験した北欧の雰囲気と文化、そしてその雄大な自然、ベルゲンの海岸線の素晴らしさに圧倒された。帰り道に寄ったデンマークの街と文化。これらの感動がわたしたちの輪を一層つよく結びつけた。青柳さんは 1996 年から 97 年にかけて第 9 代の会長を引き受けた。「ワイズの作戦にまんまと引っかかった」と後に書いている。その時期済州島でアジア大会が開かれ、阪神間で唯一ひとり参加している。

青柳さんは歌がお好きだった。度々カラオケで歌う機会があった。生真面目な今西さんまで引き込んで、今西さんに『長崎の鐘』を歌わせたりしたが、青柳さんがどんな歌を好まれていたかは思い出せない。亡くなるひと月ほど前に、美知子さんから「青柳が洗礼を受けると言ってくれて、家で洗礼式をしてもらったんです」という便りを頂いた。ご自分の死を予感されて、美知子さんへの感謝の思いもこめて洗礼を受けようと決心されたのかな、と思った。あるいはワイズでの交流を通して、多くのキリスト信徒たちと出会い、自分もいつかはその群に加わろうと日頃から思っておられたのかも知れない。聖ペテロ教会に安置された青柳さんの頬はくぼんでいた。その冷たい額に触れながら、一足先に地上の生を閉じられた青柳さんに「ご苦労さんでしたね」とひとこと声をかけた。

【今月のみ言葉】

それぞれの人生の歩みにおいて私たちは多くの「出会い」を経験しますが、その「出会い」がその人の人生に決定的な影響を与える場合もあります。新約聖書に登場するザアカイも、「出会い」によって人生を変えられた代表的な人物です。エルサレムへの旅を続けていた主イエスがエリコの町を訪れたとき、徴税人ザアカイも主イエスに興味を覚え、ぜひ見てみたいと思ったようです。しかし、背が低かったために群衆に遮られて主イエスを見

ることができなかったのも、先回りしてイチジク桑の木に登り、そこから主イエスの姿を覗きこもうとしたのです。

しかし主イエスは木の上のザアカイを認め、「急いで降りて来なさい」と呼びかけられます。興味深いのは、この時イエスがザアカイに「急いで〜」というように、この出会いの機会を即座に受け止めるよう促していることです。そこで彼は、言われた通りに急いで木から降りて来て主イエスを迎え、さらに財産の半分を貧しい人に施し、騙し取った人に対しては十分に償いをすると言いました。奪い取る側から与える側へ、彼は主イエスとの出会いを通して全く新しい生き方を選び取ったのです。

ザアカイの決意を聞いた主イエスは「今日、救いがこの家を訪れた」と宣言されますが、それは何より彼が主イエスとの出会いのチャンスをしっかりと受け止めたからです。私たちも、主イエスとの出会いのチャンスを大切に受け止め、日々主イエスからの呼びかけに応えていければと思います。

嶺重 淑

YMCA だより



6 月は新たな会館で定期総会を行うことができ、創立記念日礼拝、献館記念式典と多くの方への新会館のお披露目が一通り終わったのではと感じています。まだ来られたことがない方はぜひお近くにお越しの際に足を寄せていただければ幸いです。

年度の始まりのあわただしい 3 か月がすぎ、次は夏のプログラムなど、行事やイベントが多くなる時を迎えています。すべてのプログラムが平安の中で行われるよう、そして参加されたメンバー、ボランティア、すべての人に実りあるようにお祈り合わせてくださいましたら幸いです。

【国際協力募金感謝】

6 月の例会では、YMCA 国際協力募金にワイズより献金をささげてくださいます。いただいた資金をもとに、国内外の災害、また戦乱などのなか弱い立場にされている地域、また困難な状況におかれている子どもたちの支援などに、世界の YMCA のネットワークを通じて役立たせていただきます。

日本でも近年は大災害に見舞われる中で、つながりの大切さに改めて気づかされることが大きいです。一人一人の思いを募り、様々な困難な状況にある地域、家族、子どもに心を寄せることは、YMCA が率先して行うべき活動とも考えています。

そんな YMCA の諸活動のご理解に感謝し、また今後のご協力を合わせてよろしくお願い致します。

第 21 回西日本区大会
実行委員会コーナー

2017 年 6 月 9 日(金)から 3 日間、熊本へ行きました。第 20 回西日本区大会と前夜祭に出席のためです。地震から 1 年 2 カ月の間、想像外の問題やご苦労があったでしょうがワイズの底力をしっかり感じられる大会でした。私達、実行委員会アピールキャラバンは正式デビューとなる大きな舞台です。急な事にもかかわらず多くのお助けによりアピールで使うカンカン帽を手配でき、大野勉理事を中心に来年の神戸をアピールしました。みなさんの反応は、内容が分かりやすかった、

久しぶりの神戸が楽しみ、お洒落な大会を期待してる、有森さんのお話が聴けるなんてスゴイ、メンバーをたくさん連れて行きます、等々、好評でした。

ご期待の大きさがプレッシャーの重さに比例して改めて気が引き締まる思いでした。



9月から始まる各部部会で更に大野理事以下六甲部の熱い思いをアピールして行きます。

実行委員長 石田由美子

年会費納入のお願い

2017/18 年度 前期分(17 年 7 月～12 月

金 額 20,000円

(振込みの場合は下記へ)

三菱東京UFJ銀行、宝塚中山支店

普通預金 NO 4585836

口座名 宝塚ワイズメンズクラブ